

議員提出議案第2号

自衛隊の任務及び自衛官の職務に対する理解促進等を求める意見書

桑名市議会会議規則第13条第1項の規定に基づき、標記の議案を次のとおり提出します。

令和8年6月30日 提出

提出者 桑名市議会議員

伊藤 知美

賛成者

同

水谷 憲治

同

成田 久美子

同

太田 誠

同

松田 正美

同

伊藤 研司

同

飯田 尚人

同

近藤 奈歩

同

畑 紀子



自衛隊の任務及び自衛官の職務に対する理解促進等を求める意見書

自衛隊は、我が国の平和と独立を守るという国防の任務を担うとともに、大規模災害発生時における人命救助や被災地支援、国際平和協力活動など、多岐にわたる重要な役割を果たしている。

とりわけ、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震をはじめとする大規模災害においては、昼夜を問わず献身的な活動を続け、多くの国民の生命及び財産を守ってきた。

また、自衛官は、「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託にこたえる」という服務の宣誓のもと、高い使命感と強い責任感を持って日々の職務に従事している。

しかしながら、本年6月、国会において自衛官を志す人々の家庭環境に関する発言がなされ、自衛官及びその家族、さらには将来自衛隊への入隊を目指す若者に対して、誤解や偏見を招きかねない事態が生じた。

自衛隊への入隊動機は、国を守りたいという使命感、災害派遣などを通じた社会貢献への志、専門的な知識・技能の習得、公務への志望など多様であり、特定の家庭環境と結び付けて論じられるべきものではない。

また、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、防衛力の強化を進めるためには、その担い手である自衛官の確保が不可欠である。しかしながら、少子化の進展などを背景に募集環境は厳しさを増しており、定員充足が困難な状態が続いている。

よって、本市議会は、自衛官が国防という国家の根幹を支える重要な任務に誇りを持ち、安心して職務に専念するとともに、高い志を持ってその使命を全うできるよう、国に対し、以下の事項を強く要望する。

記

1. 自衛隊の任務及び自衛官の職務に対する国民の正しい理解を深めるため、積極的な情報発信及び広報・啓発活動を推進すること。
2. 国民の生命、身体及び財産を守るために果たしている自衛官の貢献について、国民の幅広い理解を得るための取組を一層強化すること。
3. 自衛官及びその家族が、自衛官という職業に誇りと名誉を持ち、安心して生活できる環境の整備及び社会的評価の向上に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月30日

桑名市議会

衆議院議長様
参議院議長様
内閣総理大臣様
内閣官房長官様
総務大臣様
防衛大臣様
文部科学大臣様